

2016 年 4 月 6 日

外科手術用エネルギーデバイスのラインアップを拡充 幅広い診療科の手技をサポートする開腹手術用のデバイスを新発売

オリンパス株式会社(社長:笹 宏行)は、内視鏡外科手術や開腹手術で血管封止や組織の切開・剥離(はくり)などに使われるエネルギーデバイス「サンダービート(英文名:THUNDERBEAT)」のラインアップを拡充します。2016 年 4 月 8 日から、開腹手術用の「サンダービート ファインジョー(英文名:THUNDERBEAT Open Fine Jaw)」を、国内で発売開始します。

「サンダービート ファインジョー」について

サンダービートシリーズは、超音波振動エネルギーとバイポーラエネルギー※1の2種類のエネルギーを同時に出力することにより、迅速な切開性能と高い血管封止※2性能という2つの特徴を併せ持った外科手術用デバイスです。また、バイポーラエネルギーの単独出力による止血操作や、組織の把持や剥離という手術操作を1本で行えることで手術時間の短縮を目指しています。

今回発売する「ファインジョー」は、小型・軽量化を追求し、繊細な先端形状と、にぎりやすい小型ハンドルを採用したことで、より精緻(せいち)な手術の実現を目指しました。これらのデバイスは消化器領域などの一般外科手術全般に適した製品です。

※1 双極型の電極で組織をつまみ、高周波電流を通電させることで、凝固および血管封止させる

※2 手術中の出血を防ぐため、手術部位に関連する血管に封をする(漏れたり流れ出たりしないようにする)処置

●発売の概要

販売名	発売予定日
サンダービート ファインジョー	2016 年 4 月 8 日

上記デバイスは、システム本体の「サージカル ティッシュ マネジメント システム」、「高周波焼灼電源装置 ESG-400」と組み合わせて使用します。



サンダービート ファインジョー

本リリースに掲載されている社名および製品名は各社の商標または登録商標です。